

# 山雲水月

発行責任者 龍源寺 住職 渡辺龍道

## 新型コロナウイルス感染症に対する報告

令和2年

### 龍源寺年間行事予定

1/1～1/3 年頭祈禱・年賀受  
 1/4～1/7 年始挨拶  
 ※1/10 年賀寺例  
 ※2/3 大節分会  
 ※2/15 釈尊涅槃会  
 ※3/8 大般若大施食会法要  
 3/17～3/23 春季彼岸会  
 ※春彼岸会 筆供養法要  
 3/23 旧蚕影山例祭日  
 4/8 釈尊降誕会(花祭り)  
 4/29 大施食会併蚕影山例祭法要  
 7/13～7/16 京浜地区孟蘭盆会  
 ※7月下旬(一泊二日) 第39回子供禪の集い  
 8月上旬 夏季おてんま  
 ※8/10 中元寺例  
 8/13～8/16 孟蘭盆会  
 9/19～9/25 秋季彼岸会  
 ※10/25 檀信徒研修旅行  
 12月上旬 冬季おてんま  
 ※12/8 釈尊成道会  
 ※12/10 歳暮寺例  
 ※12/31 除夜会  
 ※毎週水曜日 定例坐禅会  
 ※隔週水曜日 梅花講稽古  
 ※隔週金曜日 華道教室  
 ※毎月1回土曜日 ヨガ教室  
 ※は、本寺仁叟寺様に修行

新型コロナウイルスによる感染症拡大により、日本全土に緊急事態宣言が発令されました。老若男女問わず日常生活がままならない状況であること、拝察申し上げます。また、我が国のみならず、現在世界中に於いて感染症が拡大し、猛威を振るっています。当山に於きましても、下記のとおり対策を講じさせていただいております。

#### ①各建物に除菌消毒アルコールを設置

#### ②マスク着用の推進（法事の際にない方には差し上げます）

③施食会、蚕影例祭、総会を内勤とし、講演会及び会食を中止（※内勤とは山内でおつとめをする意味です。一般檀信徒の当日法要の参加は禁止をしておりますが、新旧総代人が檀家代表として参列し、僧侶も人数を極力減らした上で執り行いました。卒塔婆及び御札などは、旧本堂に安置してございますので、こちらに来られる際に取りに来てください。また墓所が当山にある場合は、連休明けに建立いたします。）

#### ④ご供養についての対策

㊦延期㊧中止㊨規模縮小（例えばご家族のみなど）で執行  
 現在のところ、㊨を選択する方が多いです。また、法要中は除菌消毒剤使用を推進、換気につとめ、マスク着用、会食中止をお弁当に変更するなどのご提案も行っております。

#### ⑤コロナウイルス鎮静化祈念法要とマスク配布

蚕影山例祭に併せ勤めました。マスクと共に納め下さい。

以上、当山で出来る対策を報告いたしました。各位が感染症拡大防止につとめ、早期の鎮静化を祈っております。

田中みき江様奉納 帽子・前掛け・マスク



## 龍源寺境内地及び墓所被災について

当寺報「山雲水月59号」でも詳細は報告申し上げましたが、当山に甚大な被害をもたらした人災による「原状回復」と「再発防止」は未だなされておりません。

被災者は当山と墓地所有者17名となります。既に5度に亘り開催しております訴訟担当の高橋勉弁護士を交えた被災者説明報告会では、被災者の会が結成され、代表に寺尾富夫様、副代表に須川勇様が選ばれました。宜しくお願い申し上げます。

ご縁があり、当山被害が3月22日放送、全国ネットTBS系テレビ放送「噂の東京マガジン」で取り上げられ、大きな反響がございました。現在係争中案件であります。雑誌、新聞などの各方面のマスコミ関連取材を受けており、機をはかって広報されると伺っております。但し、被告側の取材は拒否、又は弁護士の回答を待機している状況であるようです。

ほか、羽切吉胤氏所有の原因地となった場所に産廃を投棄していた業者は、多野造園土木株式会社だけではない事実が判明いたしました。数社の造園業者も関わり投棄をしており、その内1社は、謝礼を地主である羽切吉胤氏に支払った旨、回答しております。真実を明らかにしていただきたい案件です。

また境内地に流入した産廃の撤去につきまして、1月上旬に高崎市役所環境部が「全量撤去」の行政指導を多野造園土木株式会社に出しました。その指導に則り、2月中旬、当山本堂にて行われました行政、地区、原因業者との話し合いで、原因業者の境内地立ち入りを、不本意ながら許可いたしました。被災檀家及び地区檀家では、他業者での作業を希望していた声もありました。信仰の聖域である蚕影山跡地を、行政指導が出るまで4ヶ月以上も産廃に埋もれたまま放置しており、ようやく反省し、産廃が撤去されるものと思っておりました。しかしながら、3月下旬での土地所有者との現地確認では、倒木や土砂などの撤去がなされておらず、再度撤去指導がなされました。立ち合いの席で倒木などの撤去を約束いたしました。後になり倒木は産廃と違い原因地にないものであり、撤去はしないと多野造園土木株式会社代表田中広幸氏が述べ、現在も倒木がそのままの状態に放置され、危険な状況です。誠意ある対応を期待いたしましたが、無念の一言です。

また残念であります。蚕影山様跡地前にありました伝江戸時代の古木「多胡大桑」は産廃流入事件により、無くなったことを確認いたしました。

当山の被害も大きく発生しております。被害額は寺院や檀家さんの負うものではないと考えておりますが、被告及び裁判の結果等により当山にのしかかってくることも予想されます。その際は如何に対応すべきか、檀信徒各位が改めてお考えいただければ幸甚です。

新型コロナウイルスによる感染症拡大の影響で、当事案の訴訟公判も延期となりました。一刻も早い回復と、真実を明らかにしていただくことを願っております。当山住職として、

引き続き最善を尽くし、精進して参ります。合掌



3/22放送 TBS系テレビ「噂の東京マガジン」



## 仁叟寺通信～樹木自然葬墓「大樹苑」開苑～



(上) 永代供養付分譲個別墓

(下) 永代供養付樹木自然葬墓



本年の大般若会大施食会法要に先立ち、新たに造営いたしました仁叟寺永代供養墓地「大樹苑」の開眼供養法会が行われました。以前より境内に所在する「眞佛苑」「普同塔」のほか、五輪桜の周りに整備されました「冥福五輪塔」、樹木自然葬型や分譲区画型の個人墓及び家族墓のご提案が受け付けられることとなりました。

昨今の葬送及び供養に関する時代の潮流に合わせ、当山でも県内で先駆けて、独立型永代供養墓「眞佛苑」、納骨堂「普同塔」を建立いたしました。以来、多くの方々より申し込みがあり、丁寧に供養を行っています。

この度、株式会社エーダイが中心となり、仁叟寺五輪桜の周囲を整備し、樹木自然葬型や分譲個別型の墓所を造成いたしました。説明や資料の請求を希望される方は、遠慮なく仁叟寺若しくは同社までご連絡をお願い申し上げます。

同墓所は、仁叟寺本堂北側に所在し、高崎市天然記念物モクの木、高崎市保存樹仁叟寺五輪桜に囲まれた自然豊かな場所です。是非一度ご覧下さい。

## 自らを洲とする ～長野県被災地支援～

昨年12月9日、千曲川水害被災地域である長野県に伺って参りました。奉仕作業を、住職ほか群馬県曹洞宗青年会と曹洞宗長野県第一青年会の有志で、被災地域である長野市津野地区にてつとめさせていただきました。当地区に所在する曹洞宗妙笑寺様は、千曲川堤防が決壊した場所の傍にある寺院で、昨年に新本堂の落慶を終えたばかり。主に同寺にて復旧に向けた作業を行いました。

出来る人が出来る時に出来る事を行う。引き続き、これからも協力をさせていただければと考えております。



↑ 決壊した千曲川堤防  
 ↘ 妙笑寺様での作業風景  
 ← 長野・群馬青年会員と大阪社協の皆様

## 龍源寺総代長及び総代人交代の報告

出牛裕一様の後を引継ぎ、龍源寺総代長としてご尽力いただきました白田博様が、昨年度をもって退任されました。今年度より、新たに総代長として木村照夫様が就任されました。

総代長を勤められた白田博様は、総代人をとして凡そ8年以上、菩提寺護持にご尽力いただきました。その間、新本堂の建立、龍源寺人災の対応など多岐に亘る案件がございました。ありがとうございました。なお白田博様は、出牛裕一様同様、顧問として護持会に残っていただきます。

また新総代長として、木村照夫総代人に就任していただくことになりました。木村照夫様は故小林茂翁の後を引継ぎ、総代人として長きに亘り、ご尽力いただいております。宜しくお願い申し上げます。

また総代人の篠崎悦一様が退任され、新たに白田均様、白田幹男様が総代人として就任していただくことになりました。篠崎悦一様、ありがとうございました。出牛均様、白田幹男様、宜しくお願い致します。

※本来であれば4月29日総会の席で感謝状及び委嘱状を授与いたしますが、本年は新型コロナウイルスによる感染症拡大による社会情勢を鑑み、内勤にて行いました。ご了解下さい。



木村照夫新総代長

### 龍源寺総代人一同

木村照夫 出牛 均 白田幹男

## 令和元年度 寄進者一覧 (順不同、敬称略)

番号	地域	ご芳名	ご寄進物
1	吉井	白田 武義	会津塗伝統工芸漆器多数
2	多胡	新井 孝雄	蚕影山様鰐口一式
3	長根	上原建築	本堂用すのこ2枚
4	松田	白田 博	総代会寸志
5	東京	窪田 広	大施食会蚕影山例祭供米料(マスク)
6	多胡	田中 道教	新米30キロ
7	松田	白田 幹男	新米30キロ
8	東京	小林 清吉	本堂用青銅製花立一対
9	多胡	田中 みき江	お地蔵様用 帽子、前掛、マスク
10	前橋	筑井 孝子	龍源寺関連絵画陶芸作品、冊子

※1 当山新本堂落慶についての善意につきましては、昨年に冊子にまとめてご報告申し上げます。同事業会計決算報告は、今総会が内勤となりましたので、次回総会を目途に諮ります。

※2 当山人災被災についての御見舞につきましては、各方面より温かい志を頂戴しております。感謝いたします。一区切りしましたら、改めてご報告いたしたく存じます。

※3 編集後記は紙面の都合上、割愛いたします。本寺報で60号となりました。多謝。